



白癬（はくせん）

まだまだ暑く、新型コロナウイルスの影響で、過ごしにくい日々が続きますね。

今回は、白癬。いわゆる水虫についてご説明します。そもそも、白癬とは何か？白癬菌と呼ばれる菌が高湿度で増殖し、強いかゆみを伴う病気です。小さなブツブツ、グチュつき、かさぶた、皮膚が分厚くなる、角質が固くなるなどの症状です。白癬は、ケラチン質を好むので、角質の多い足に出来るのが一般的ですが、手や頭部、体部（皮膚の薄い部分に出来るゼニタムシ）などがあります。爪の間に感染すると（爪白癬）になり、白濁したり爪が分厚くなりポロポロと崩れ落ちたりします。

高湿度による繁殖が主ですが、最近では犬や猫などのペットから感染する人も増えています。

感染した場合は、抗真菌剤の塗り薬や内服薬を用いて治療します。爪の水虫や皮膚が分厚く硬くなる場合は、抗真菌薬の内服で治療します。再発しやすいため、菌の排除には2～3か月要しますので、しっかり治療しましょう。感染したと思ったら、速やかにお医者様の治療を受ける事をお勧めします。

あみていえは、365日・24時間対応の訪問看護ステーションです。

祝日や日曜日の定期訪問も承っております。

精神・身体共に、経験豊富な看護師がご対応いたしますので、ご相談ください。

空き状況

	月	火	水	木	金	土	日
AM	○	○	○	△	○	△	△
PM	○	△	△	△	△	○	○

○…対応可能 △…ご相談に応じます

あみていえ訪問看護ステーション

〒590-0825 堺市堺区昭和通3丁43-27

TEL : 072-275-5222

FAX : 072-275-5223

[ページに戻る](#)